



渡辺幸一 議員

事業仕分けの導入について

事業について、予算編成前に住民、有識者の意見を聞くことにより仕分けに耐えられる事業の必要性、費用対効果を示すよい面があると思う。まちづくり条例も4月から施行し、町民参画の意味でも事業仕分けの導入の考えは。

町長

当分の間は事業仕分けは見送りをしながら、新規事業、主要事業等については十分公開をし、皆様の意見を聞く中でやっていきたい。ただ、イベント事業については見直す部分があるだろうが、限られた財源の



ミニパーク設置事業（上田地内）

中で十分検討していく。補助金については、今のニーズに合った団体の事業は認めていく。切るばかりではなく新たな挑戦をし、その団体が活性化するのであれば増やしていく。

県との人事交流について

現在、揖斐郡下における人事交流の状況は、揖斐川町、大野町で平成20年から現在まで行われている。当町においても今後県とのより緊密な連携体制を図るための事業が多くなると思われる。

例えば、西美濃夢幻回廊事業、治山治水、都市計画道路などの事業も県との連携が不可欠と思う。又、国からの交付金についても一括交付金で県に交付され、県から市町村に交付されるシステムになっている現状を考えた場合、県との人事交流を実施すべきではないか。

町長

新しい制度もでき、いろんな面での県の持っている基金を有効に活用するためには、

常日ごろから交流があることも大事であると思う。

そういった状況の中、来年の4月に相互交流といったことで県にお願いをし申請している。町からの派遣職員も、期限は概ね2年になっているので、戻った時には経験を生かし、相当の職責についてもらう形で今後進めていきたい。

町村名	派遣先	派遣年度
揖斐川町	総務部次長	20~21
	産業建設部次長	20~21
	産業建設部長	22~23
	総務部長	22~23
	産業建設部次長	24~
大野町	総務部次長	24~
	産業建設部長	20~21
	総務部企画財政課長	22~23
	総務部広報係長	22~23
	副町長	24~

揖斐郡下における人事交流の状況